

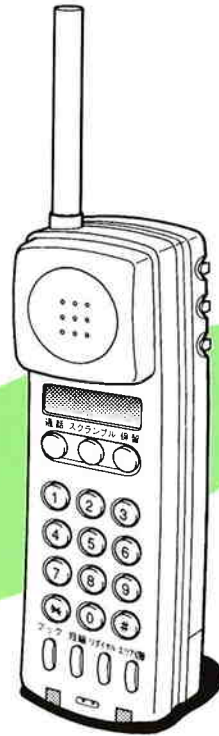
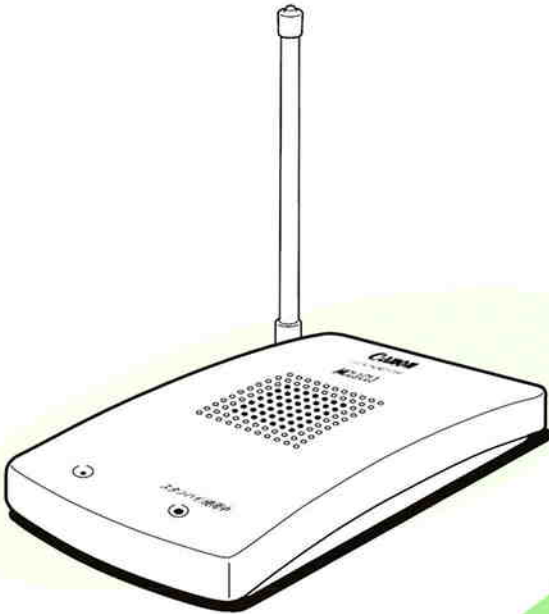
Canon

CANON DIGITALPHONE SYSTEM

MCL3/CL3

コードレスセット

使用説明書



H62-0011CL3

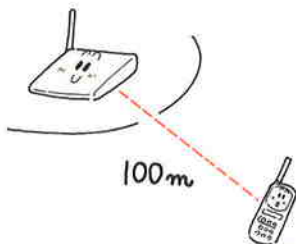
お願い

本製品をお使いになる前に、本書を必ずお読みください。
本文中の注意事項は必ずお守りください。
この使用説明書は、必要なときにすぐに取り出して読める
ように、大切に保管しておいてください。

このたびは《キャノン・デジタルホン・システムDIGI MCL3/CL3 コードレスセット (H62-0011CL3)》をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機を正しくご使用いただくために、この使用説明書をよくお読みいただきますよう、お願い申し上げます。

<本機の主な特長>

子機を持ち歩く



親機との見通し距離約100mの範囲で、通話しながら自由に移動できます。

エリア切替

(⇒P.20)



見通し距離を越える場合でも、近くの親機を経由して発信および着信できます。

コンビネーション発信

(⇒P.32)



専用電話機で発信操作を代行し、子機で通話できます。

スクランブル通話

(⇒P.33)



盗聴防止のためのスクランブル機能が利用できます。

フレキシブルキーアサイン

(⇒P.40)



外線ボタンに、便利な電話機能を自由に登録して利用できます。

会議通話

(⇒P.47)



3人で同時に通話できます。

本製品は、第1種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）基準に適合しております。しかし、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオやテレビジョン受信機などに受信障害を与えることがあります。使用説明書に従って正しい取扱いをしてください。

電波障害について

コードレス電話機は電波を使用している関係上、コード付き電話機に比べて雑音や混信などの電波障害を受けやすくなっています。より快適にお使いいただけるよう、次のような場所での使用はできるだけ避けてください。

■ 放送局や無線機を使用している場所の近く



- 混信したり、通話がとぎれたりすることがあります。

■ AV機器、OA機器、公共通信などの近く



- 妨害を受けたり与えたりすることがあります。通話中に雑音が入ったりするときは体の向きを変えたり、場所を変えることによって改善される場合があります。

■ 見通しの悪いところや壁の近く



- 親機との見通し距離は約100mとなっていますが、建物の材質や障害物の状況により、通話距離が大幅に短くなることがあります。あらかじめ通話できる範囲を確認しておくことをおすすめします。



注意していただきたいこと

- 本機はキヤノン・デジタルホン・システムの専用コードレス電話機です。一般のNTT回線やPBX（構内交換機）には接続できません。また、本機の使用に際しては主装置への設定工事が必要です。本機は国内用ですので海外では使用できません。
- コードレス電話機を分解したり、改造したりすることは法律で禁止されていますので、絶対に行わないでください。
- 本機には盗聴されにくいスクランブル機能がありますが、電波を利用しているため、第三者が故意に特殊手段を講じた場合には盗聴を完全に防止することができません。十分に配慮してご使用ください。
- 本機は防水型ではありません。水気のかからないように注意してください。

こんなときには警報音で知らせます

■ 通話中に親機から離れすぎたとき（圏外警報）



- 通話中に親機から離れすぎると1秒ごとに「ビッ」という警報音が鳴り、こちらの声が相手に聞こえなくなったり、相手の声が聞こえなくなったりします。また、ディスプレイのアンテナマークが点滅します。

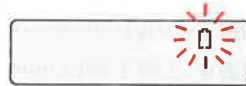


- 警報音が鳴ってから約50秒で通話は切れますので、この間に親機の近くへもどってください。

■ 電池がなくなりそうなき（電池充電警報）



- 通話中に電池がなくなりそうになると「ビッビッ」という警報音が鳴り、ディスプレイの電池マークが点滅します。



- 電池がなくなりかけていますので速やかに充電してください（⇒P.6）。

■ 親機と接続できなかったとき（無線回線接続失敗警報）



- 子機を充電台から持ち上げたときまたは「通話」ボタンを押したときに「ピーピーピー」と鳴り、ディスプレイには「圏外」が3秒間表示されます。



- これは親機から離れすぎているか、親機が他の子機と通話中であることが考えられます。親機に近づくか、しばらく待ってからやりなおしてください。
- 親機にあるスタンバイ/使用中ランプが赤色に点灯しているときは使用中です。緑色に点灯したら使用できます。

■ エリア切替ができないとき（エリア切替失敗警報）



- 「エリア切替」ボタンを押したとき、親機が他の子機と通話中などの状況によりエリア切替（⇒P.20）ができない場合に「ピーピーピー」と鳴り、ディスプレイには「圏外」が3秒間表示されます。



- しばらく待ってからやりなおしてください。

もくじ



ご使用の前に.....6

- 子機の電池を充電してください
- 電話機のタイプを確認してください
- 覚えておくと便利なこと

各部の名称とはたらき.....8

電話をかける、受ける

子機を持ち上げるだけで発信・応答できる (オフフック自動応答)..... 12

外線にかける

ダイヤルしてかける (外線発信)..... 13

短縮でかける (短縮ダイヤル)..... 14

同じ相手にかけなおす (リダイヤル)..... 16

ワンタッチでかける (ワンタッチオートダイヤル)..... 42

内線にかける

ダイヤルしてかける (内線発信)..... 17

代表番号でかける (内線代表)..... 18

ダイヤルせずに特定の内線を出す
(内線ダイレクトコール)..... 19

電話を受ける

自分の電話機が鳴っている (応答)..... 20

移動先で着信させる (エリア切替)..... 20

近くで外線着信音が鳴っている (任意外線応答)..... 21

近くで内線着信音が鳴っている (内線代理応答)..... 41

話し中・応答がない



スピーカから呼びかける (内線音声呼出)..... 22

親機のスピーカから呼びかける (親機音声呼出)..... 23

電話を待っていることを相手に伝える
(メッセージウェイト)..... 24

通話中の内線を出す (話中呼出)..... 25

グループごとに呼びかける (グループ斉呼出)..... 44

保留・転送する

通話中の相手を保留する (保留)..... 26

保留番号で外線を保留する (パーク保留)..... 27

近くの内線に声をかけて転送する (簡易転送)..... 28

離れている内線に転送する (保留転送)..... 29

通話中の外線を別の外線に転送する (外線転送)..... 30

自分の電話機だけで保留する (外線自己保留)..... 45

ファクスへ転送する (ファクス転送)..... 46

*はオプション機能です。

その他の便利な機能

専用電話機から発信し、子機で話す (コンビネーション発信).....	32
通話中にスクランブルをかける (スクランブル通話).....	33
ボタンを押すと音が鳴る (キーイントーン).....	34
音量を調節する (音量調節).....	35
マスター電話機をさがす (マスターコール).....	36
トーン信号で各種の電話サービスを受ける (PB 信号送出).....	37
NTTのキャッチホンサービスに応答する (フッキング送出).....	37

機能を設定して使う

外線ボタンに機能を設定する (フレキシブルキーアサイン).....	40
外線用の電話機から内線にかける (内線発信).....	41
近くで内線着信音が鳴っている (内線代理応答).....	41
ワンタッチでかける (ワンタッチオートダイヤル).....	42
電話を切ると同時に外線を捕捉する (フラッシュ機能).....	43
グループごとに音声で呼びかける (グループ斉呼出).....	44
自分の電話機だけで保留する (外線自己保留).....	45
ファクスへ転送する (ファクス転送).....	46
3人で同時に通話する (会議通話).....	47
口頭で相手の方から通話に参加させる (秘話解除).....	48
外部スピーカを使って放送する (構内放送)*.....	49
ドアホンに応答する (ドアホン)*.....	50

こんなときには

設置について.....	52
故障かなと思ったら.....	54
停電のとき.....	54

仕様・その他

仕様.....	56
機器の構成.....	57
索引.....	58

ご使用の前に



■ 子機の電池を充電してください

- はじめて子機を使用するときや電池を交換したとき、または1ヵ月以上使用しなかったときは子機の電源スイッチを「切」にして8時間以上充電してください。
- 充電が完了したら、子機の電源スイッチを「入」にし、電池蓋をもとどおりに取付けてください。通常は「入」にしておきます。「切」の状態では発着信できません。

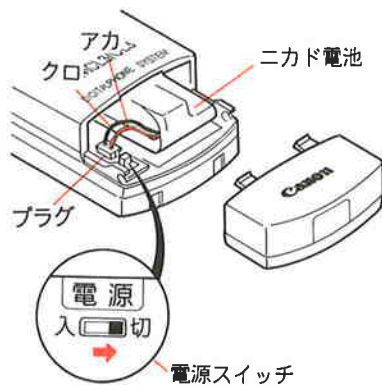


電池を交換するとき

- 電池を交換するときは、電池蓋を強めに押しながら矢印の方向にスライドして外し、次にプラグを外してから電池を引出してください。新しい電池を入れたら、右図のようにプラグを接続し、電池蓋をもどしてください。

注意

- プラグを外すときはコードを引っぱらずにプラグを持って外してください。



Ni-Cd

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

- この製品(子機のみ)には、ニカド電池を使用しております。環境と資源の保護のため、ご不要になったニカド電池は弊社の営業所、サービスセンター、O1ショップへお持ちください。
- また、取外したニカド電池は、短絡(ショート)防止のため、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を講じた後、乾電池などの他の電池と混ぜないように保管してください。

充電のしかた

- 充電台の電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
- 番号が見える面を合わせて充電台に置いてください。充電が開始されると充電中ランプが点灯します。



番号が見える面を合わせて置いてください。番号シールはマスターコードレスセットに入っています。

- フル充電状態から約5時間連続通話ができます。
- フル充電状態から子機を持ち歩ける時間は約50時間です。
- 補充電のため、使用しないときは充電台にもどしておくことをおすすめします。
- 電池の寿命は普通の使われかたで約2年です。充電してもすぐに電池充電警報(⇒P.3)がでるようでしたら新しい電池と交換してください。

注意

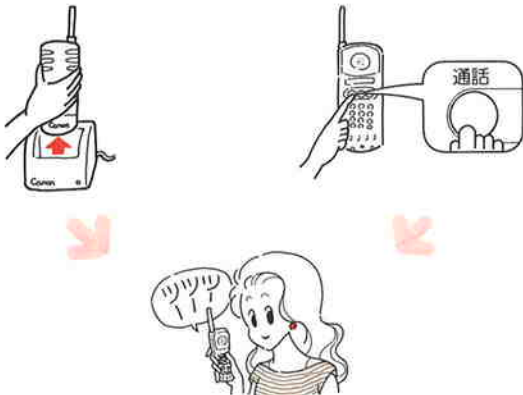
- 充電台および電池はキヤノン指定のものをご使用ください。
- 電池を火の中に投入したり、ショート、分解、加熱しないでください。

■ 電話機のタイプを確認してください

電話機には外線用と内線用の2つのタイプがあります。タイプによって電話のかけかたが異なりますので、まず、自分の電話機がどちらのタイプか確かめてください。どちらのタイプであるかは子機を持ち上げたとき、または「通話」ボタンを押したときの音でわかります。

内線用の電話機

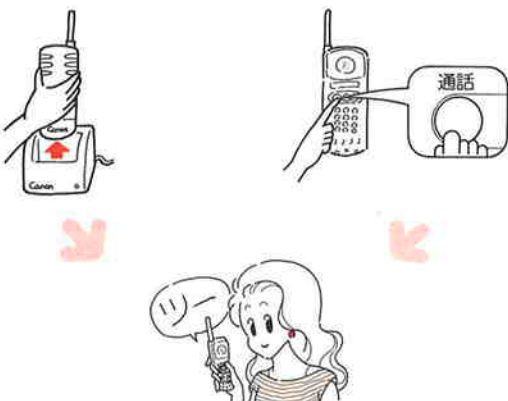
子機を充電台から持ち上げたときまたは「通話」ボタンを押したときに「ツーツー」 という音が聞こえたら内線用の電話機です。



- 「ツーツー」 という音は内線にかけられる状態（内線発信状態）であることを意味します。そのまま内線番号をダイヤルすれば内線に発信できます。
- 内線発信状態から外線にかけるときは0発信（⇒P.13）、または空いている「外線」ボタンを押して「ツー」から「ツ」にします。

外線用の電話機

子機を充電台から持ち上げたときまたは「通話」ボタンを押したときに「ツ」 という音が聞こえたら外線用の電話機です。



- 「ツ」 という音は外線にかけられる状態（外線発信状態）であることを意味します。そのまま外線番号をダイヤルすれば外線に発信できます。
- 外線発信状態から内線にかけるときは「内線」ボタンを押して「ツ」から「ツー」にします。ただし、あらかじめ「内線」ボタンを機能ボタンとして設定する必要があります（⇒P.40）。

■ 覚えておくと便利なこと

子機を充電台から持ち上げたときまたは「通話」ボタンを押したとき、ディスプレイの表示は通常が表示



からダイヤルできる状態の表示



に変わります。

（待機状態といいます）

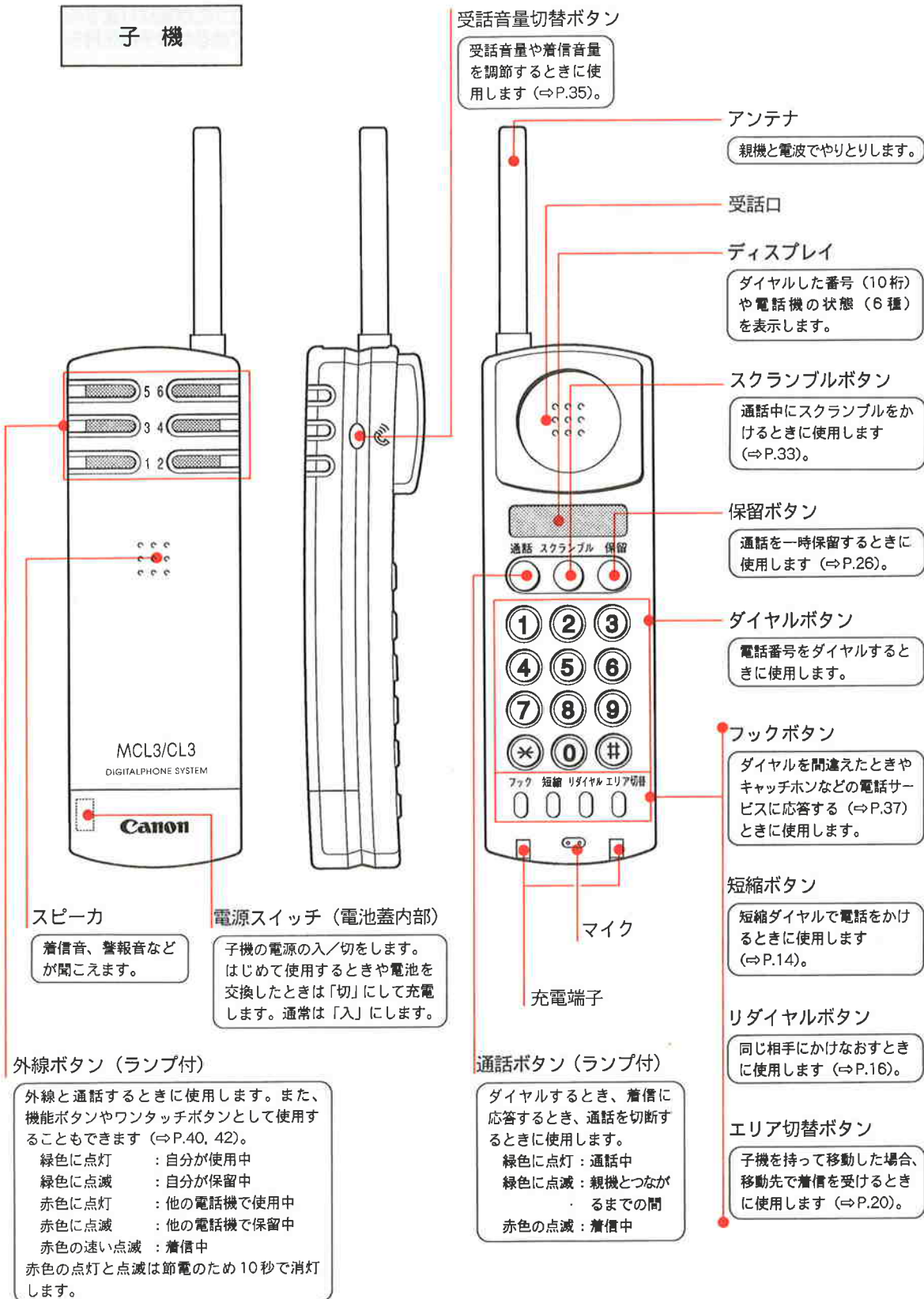
もしも…

- 電池マークが点滅していたら、電池の寿命です（⇒P.3）。
- 「圏外」が表示されていたら、親機から離れすぎか親機は使用中です（⇒P.3）。
- 親機にあるスタンバイ/使用中ランプが赤色に点灯していたら、親機は使用中です（⇒P.10）。

また、赤色で点灯または点滅した外線ボタンは節電のため10秒で消灯します。消灯しても、内線発信状態で「〇」を押すと、再度点灯または点滅します。

各部の名称とはたらき

子機



ディスプレイの表示

受話音量の大きさを表示します (⇒P.35)。

☎ : 大
☎ : 小

スクランブルがかかっているときに表示します (⇒P.33)。

発信時に、次の理由で通話ができないとき警報音と同時に表示します (⇒P.3)。

- ①親機と離れすぎたとき
 - ②親機が使用中のとき
 - ③電波の状態が不安定なとき
- エリア切替え時も同様です。

電池の残量を表示します。

🔋 : 残量が多い
🔋 : 残量が少ない
🔋 : 電池がなくなりそうなとき
警報音と同時に枠が点滅します (⇒P.3)。早めに充電してください。

通話中、親機からの電波の強さを表示します。

📶 : 強い
📶 : やや弱い
📶 : 弱い。警報音とともに点滅します (⇒P.3)。

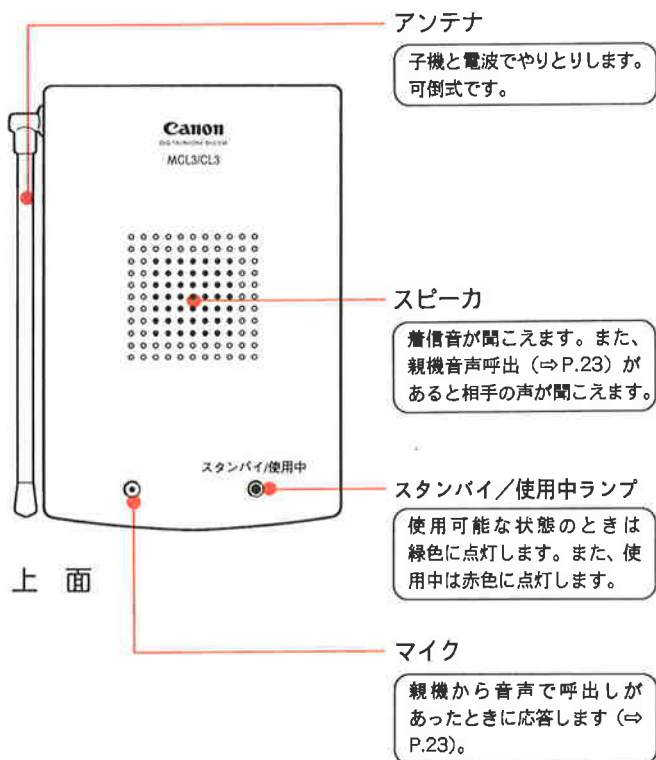
スクランブル 圏外 短縮 ☎ 🔋 📶

8 8 8 8 8 8 8 8 8 8

ダイヤルした番号を表示します。
10桁以上入力した場合は左にシフトします。

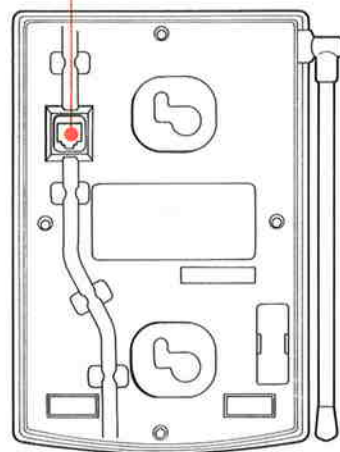
短縮ダイヤルを行うときに表示します (⇒P.14)。短縮番号を入力すると消えます。

親機

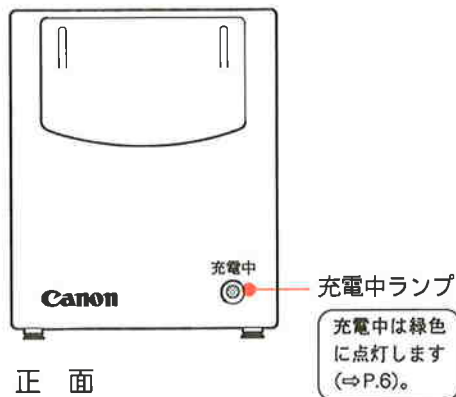
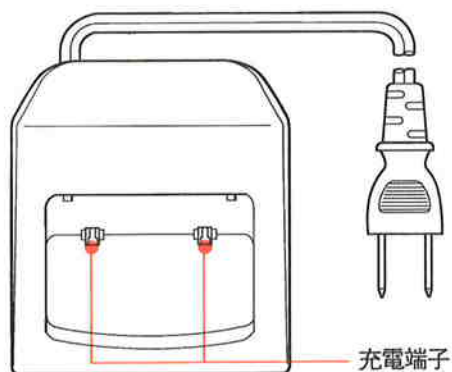


モジュラコネクタ

主装置のローゼットと接続します(⇒P.52)。



充電台



電話をかける、受ける

外線にかける
内線にかける
電話を受ける
話し中・応答がない
保留・転送する



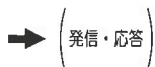
オフフック自動応答

子機を充電台から持ち上げるだけで発信・応答できる

通常は自動応答にしておく便利です。

オフフック自動応答が設定されているとき

子機を充電台から持ち上げるだけで発信や応答ができます。

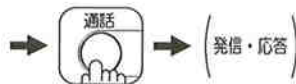


●ただし、着信音を鳴らさないように設定されている子機から応答する場合は、子機をとり、点滅している **外線** ボタンを押してください。

オフフック自動応答が設定されていないとき

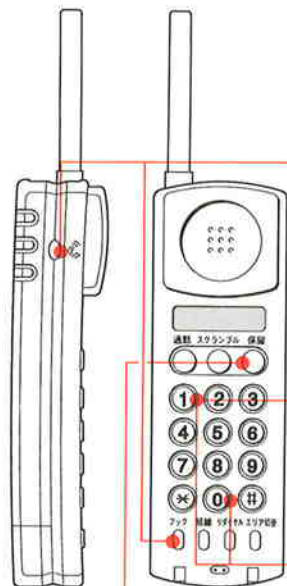
子機を充電台から持ち上げても待機状態のままです。

通話 ボタンを押すと発信や応答ができます。



●ただし、着信音を鳴らさないように設定されている子機から応答する場合は、 **通話** ボタンのあと、点滅している **外線** ボタンを押してください。

設定および解除のしかた



1 待機状態で



2 受話音量切替 ボタンを押したまま **フック** ボタンを押す



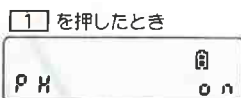
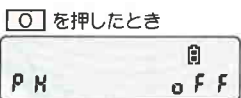
3 **1** を押す

現在の設定状態が表示されます。



on : 自動発信・応答できる
off : 自動発信・応答できない

4 自動応答にしたくないときは **0**、自動応答にしたいときは **1** を押す



5 **保留** ボタンを押す



●登録確認音「プー」が聞こえます。

注 意

- 操作の途中で、10秒間ボタンが押されないと操作はキャンセルされます。
- 設定にかかわらず、子機を充電台に置くとオンフックとなります。

外線発信

ダイヤルしてかける



外線にかける場合は、「ツー」という発信音が聞こえる外線発信状態(⇒P.7)でダイヤルしてください。

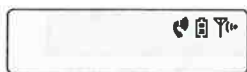
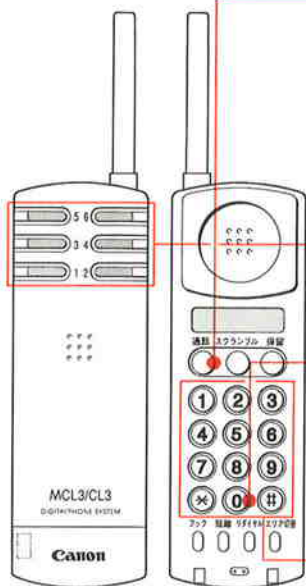
- 電話機が外線用(⇒P.7)に設定されている場合は、ステップ2は省略できます。

充電台にあるとき

充電台にないとき



1 子機をとる



- 通話ランプ: 点滅→点灯

2 空いている [外線] ボタンまたは [0] を押す

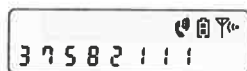


- 外線ランプ: 緑色に点灯

- 発信音は「ツーツーツー」から「ツー」に変わります。
- [0] を押すと自動的に空いている外線を選んでくれます(0発信)。
- すべての[外線]ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

3 相手の番号をダイヤルする

番号3758-2111をダイヤルしたとき



- 間違えてダイヤルしたときはいったん電話を切り、ステップ1からやりなおしてください。

4 相手が出たら話す



5 終るとき



充電台にもどす



または [通話] を押す

- 通話ランプ: 消灯
- 外線ランプ: 消灯

外線ボタンの番号を指定してかける

(子機をとる)



(⇒P.38)

外線ボタンの番号
[1] ~ [6]

(相手番号)

... 相手が出たら話す

短縮ダイヤル

短縮でかける



短縮番号は00～99の2桁の番号です。00～89はすべての電話機で共通して使えるシステム短縮ダイヤルです。90～99は電話機ごとに登録して使える電話機別短縮ダイヤルです。

- 電話機が外線用 (⇒P.7) に設定されている場合は、ステップ2は省略できます。

充電台にあるとき

充電台にないとき



1 子機をとる



- 通話ランプ：点滅→点灯

2 空いている [外線] ボタンまたは [0] を押す



- 外線ランプ：緑色に点灯

- 発信音は「ツーツーツー」から「ツー」に変わります。
- [0] を押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- すべての [外線] ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

3 短縮 ボタンを押す



4 短縮番号をダイヤルする

短縮番号15 (06-441-9000) をダイヤルしたとき



5 相手が出たら話す



6 終るとき



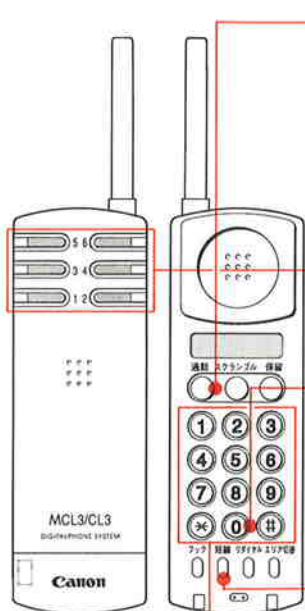
充電台にもどす

または

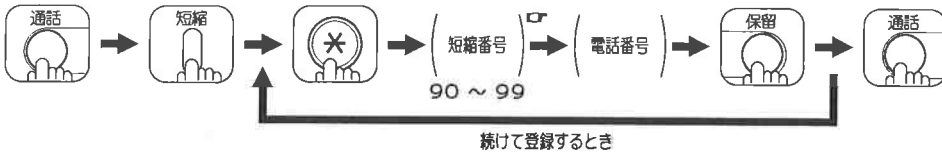


を押す

- 通話ランプ：消灯
- 外線ランプ：消灯

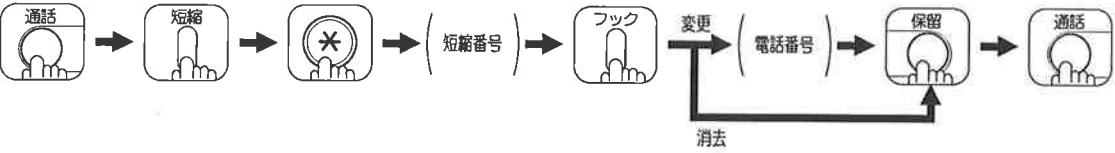


電話機別短縮ダイヤルを登録する



☐ 電話番号は短縮番号入力後、表示が消えて「ピー」という音がしてから入力してください。

登録した内容を変更・消去する



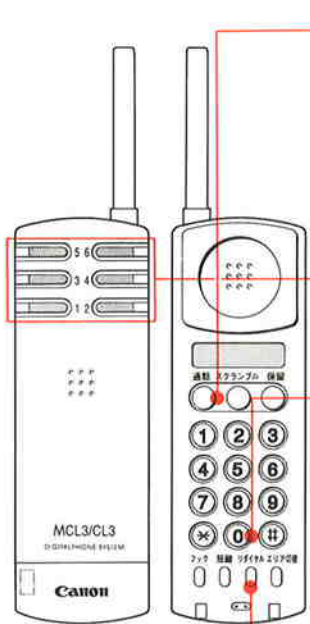
リダイヤル

同じ相手にかけなおす



最後にダイヤルした外線番号は自動的に記憶されます。

- ワンタッチオートダイヤル、短縮ダイヤルでかけた電話番号もリダイヤルできます。
- 電話機が外線用 (⇒P.7) に設定されている場合は、ステップ2は省略できます。



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7)。

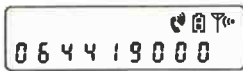
2 空いている 外線 ボタンまたは 〇 を押す



● 外線ランプ：緑色に点灯

- 発信音は「ツーーツー」から「ツー」に変わります。
- 〇 を押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- すべての 外線 ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

3 リダイヤル ボタンを押す



- 記憶されている内容 (例：06-441-9000) が表示されます。

4 相手が出たら話す



5 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

- 通話ランプ：消灯
- 外線ランプ：消灯

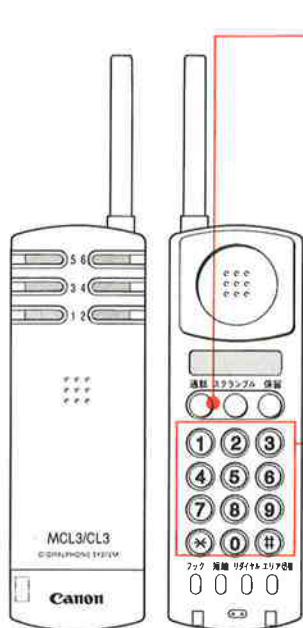
内線発信

ダイヤルしてかける



内線にかける場合は「ツーツーツー」という発信音が聞こえる内線発信状態 (⇒P.7) でダイヤルしてください。

- 外線用の電話機 (⇒P.7) から内線にかける場合は、**内線** ボタンを押してからダイヤルします (⇒P.41)。



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ: 点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7、P.41)。

2 相手の内線番号をダイヤルする

内線番号12をダイヤルしたとき



- 間違えてダイヤルしたときはいったん電話を切り、ステップ1からやりなおしてください。

3 相手が出たら話す



4 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

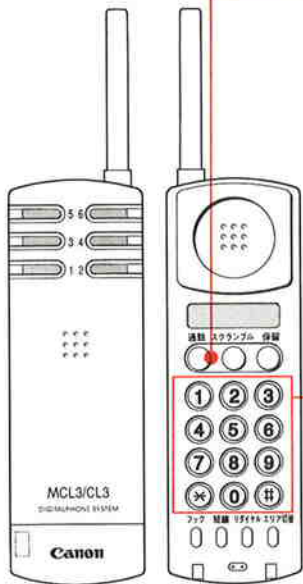
○ 通話ランプ: 消灯

内線代表

代表番号でかける



内線番号の頭1桁と **[*]** ボタンを押してかけます。例えば、内線11番が話し中の場合は一度電話を切り、**[1][*]** を押すと10番台の空いている内線を呼出します。30番台であれば **[3][*]** と押します。



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7, P.41)。

2 内線番号の頭1桁と **[*]** ボタンを押す

[1][*] を押したとき



- 間違えてダイヤルしたときはいったん電話を切り、ステップ1からやりなおしてください。
- 空いている内線がない場合は、話中音「ツー・ツー」が聞こえます。しばらく待ってからかけなおしてください。

3 相手が出たら話す



4 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ：消灯

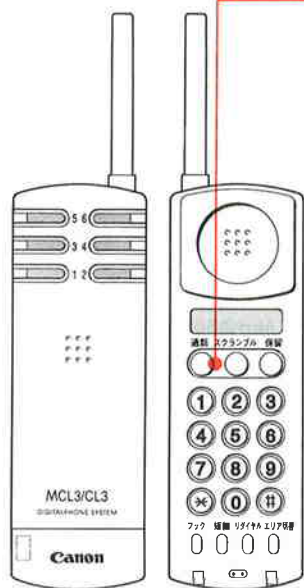
内線ダイレクトコール

ダイヤルせずに特定の内線を出す

データ設定



内線番号をダイヤルしなくても子機をとるだけで、あらかじめ決められた内線を出すことができます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



相手内線の番号（例：12）を表示します。



● 通話ランプ：点滅→点灯



2 相手が出たら話す



3 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ：消灯

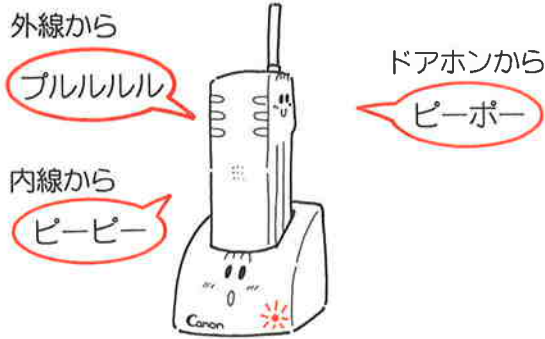
注意

- 内線ダイレクトコールを設定すると、専用コードレス電話機から外線および他の内線にはかけられなくなります。
- 内線ダイレクトコールでかけた場合、音声呼出、メッセージウェイト、話中呼出などはできません。

応答

自分の電話機が鳴っている

自分の電話機で着信音が鳴っているときは、外線、内線に関係なく特別な操作は必要ありません。そのまま子機を持ち上げるか、または「通話」ボタンを押してお話してください。オフフック自動応答(⇒P.12)が設定されている場合は、子機を持ち上げるだけで応答できます。



- 外線から着信すると「外線」ボタンと「通話」ボタンが赤色に点滅します。ただし、着信音が鳴らないように設定されている場合は点滅しません。
- 外線からの着信音は3種類、鳴動パターンは4種類の中から選べます。工事保守店にご相談ください。

エリア切替

移動先で着信させる

メニュー設定



他のフロアなどへ子機を持って移動するときは、他の親機を介して移動先でも着信させることができます。発信もできます。

1 子機を持って移動する

「通話」ボタンは消灯している状態にして移動してください。

2 移動先で、「エリア切替」ボタンを押す

確認音「プー」が聞こえます。

注意

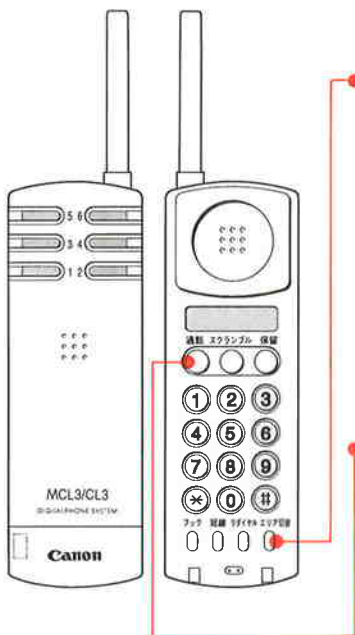
- 近くに親機がない場合または電波状態が悪い場合は「ピーピーピー」と鳴り、ディスプレイには「圏外」が表示されます。この場合は、移動先での発信および着信はできません。

圏外

3 着信音が鳴ったら「通話」ボタンを押して応答する

発信するときは「通話」ボタンを押してから発信操作をする

- エリア切替えて通話後、自分の席にもどったときはもう一度「エリア切替」ボタンを押してください。



任意外線応答

近くで外線着信音が鳴っている



他の電話機で外線着信音が鳴っているとき、子機をとると **外線** ボタンが赤色で速く点滅します。そのボタンを押すと応答できます。

- 1 近くで外線着信音が鳴っているとき
- 2 子機をとる

充電台にあるとき

充電台にないとき
- 3 赤色で速く点滅している **外線** ボタンを押す

● 相手と話ができます。
- 4 終るとき

充電台にもどす

または **通話** を押す

○ 通話ランプ：消灯
○ 外線ランプ：消灯



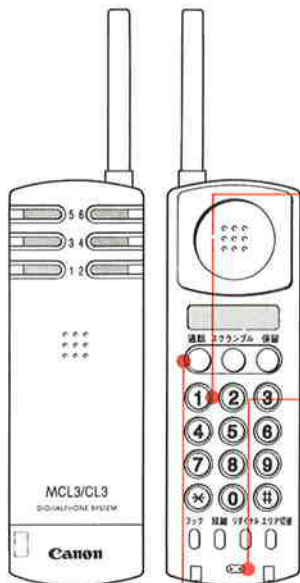
内線音声呼出

スピーカから呼びかける



ダイヤルした内線がなかなか出ないときは、相手の専用電話機のスピーカから音声で呼出すことができます。

- ダイヤルした内線が専用コードレス電話機の場合は、その親機のスピーカからの呼出しとなります (⇒次ページ)。



1 内線 (例: 12) を呼出し中に



2 **1** を押す



3 子機のマイクに向かって呼びかける



- 相手が出たら話ができます。

4 終るとき



○ 通話ランプ: 消灯

親機音声呼出

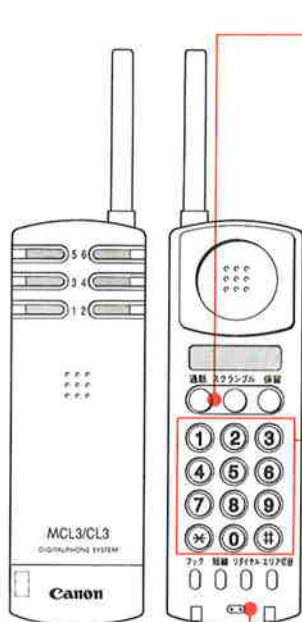
親機のスピーカから呼びかける

データ設定



ダイヤルした内線が専用コードレス電話機の場合は、親機のスピーカからの呼出しとなります。

- 子機からその親機のスピーカを使って呼出すことはできません。
- システム内の専用電話機や一般電話機からも同様の操作で親機音声呼出ができます。



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7)。

2 専用コードレス電話機の内線番号 (例：22) のあとに 1 をダイヤルする



3 子機のマイクに向かって呼びかける



● 相手が出たら話ができます。

4 終るとき



○ 通話ランプ：消灯

応答するとき

- 近くの人には親機のマイクに向かって応答できます。ただし、親機のスピーカ音量やマイクのオン・オフなどのデータ設定が必要です。工事保守店にご相談ください。
- または、親機に対応する子機をとることで応答できます。

メッセージウエイ

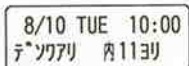
電話を待っていることを相手に伝える



相手が話し中または応答しないときに、電話を待っていることを知らせます。

- 相手がディスプレイ付き専用電話機の場合にのみ伝言できます。

伝言を受けた側の表示例



- 伝言できるのは1ヶ所だけです。伝言を取消したいときはもう一度その内線にかけてください。

1 話中音または呼出音が鳴っている間に

内線12にダイヤルしたとき



2 2 を押す



- 相手の電話機には内線番号とかけた時刻が表示されます。

3 子機を置く



○ 通話ランプ：消灯

話中呼出

通話中の内線を呼出す



急な用件があるときは、通話中の内線に割り込んで話すことができます。

- 相手がドアホンの応答などでスピーカを使用しているときは呼出すことはできません。話中音が聞こえます。
- 相手が専用コードレス電話機の場合、話中呼出はできません。



1 話中音が鳴っているとき

内線 12 にダイヤルしたとき



2 3 を押す

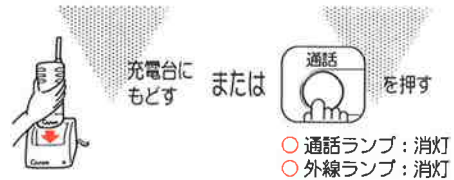


相手の電話機では話中着信音「ピーピー」が鳴ります。

3 相手が出たら話す



4 終るとき



保 留

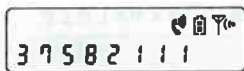
通話中の相手を保留する



保留中の電話は同じ内線グループ内の他の電話機から応答することもできます。

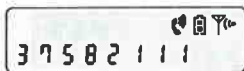
- 長時間保留しても警報音は鳴りませんので保留したことを忘れないようにしてください。

1 通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。

2 保留 ボタンを押す



- 相手が外線のときは **外線** ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 相手には保留メロディを流します。

3 再び話すとき

- 外線を保留したときは緑色に点滅している

外線 ボタンを押す

- 内線を保留したときは再度 **保留** ボタンを押す

4 終るとき



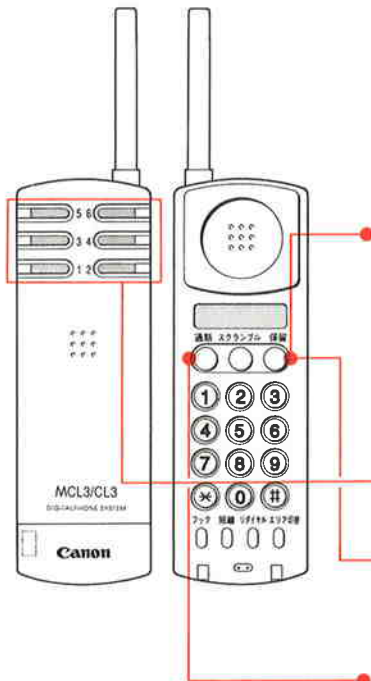
充電台にもどす

または

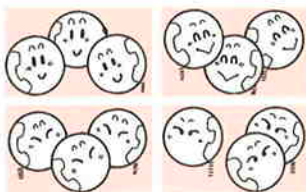


を押す

○ 通話ランプ：消灯



内線グループ

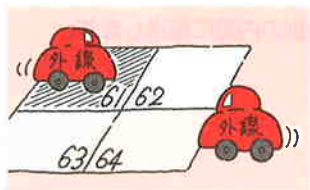


本システムでは、外線の着信先を4つのグループに分けることができます。ある外線に着信があると、その外線が所属するグループの電話機だけが応答できます。このグループのことを内線グループ（着信テナント）といいます。内線グループはテナント分けを利用した機能です。

- 内線グループと一斉呼出グループ（⇒P.44）は異なります。詳しくは工事保守店にご相談ください。

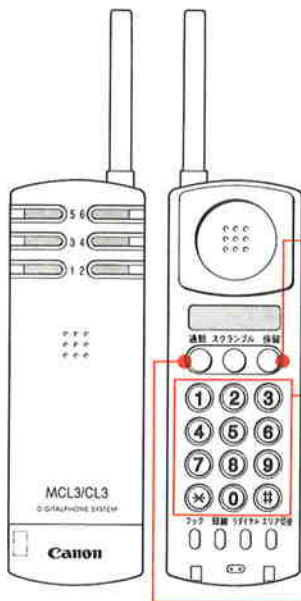
パーク保留

保留番号で外線を保留する

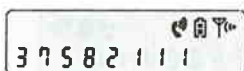


保留番号は2桁の数字(61~64)で4つあります。

- パーク保留が1分以上続くと通常の保留となり、パーク保留をした電話機が鳴ります。
- 保留番号は自由に決めることができます(⇒P.38)。



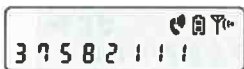
1 外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。



2 保留 ボタンを押す



- 外線** ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 相手には保留メロディを流します。

3 保留番号をダイヤルする

保留番号61をダイヤルしたとき



4 子機を置くか 通話 ボタンを押す



- 通話ランプが消灯します。

5 再び話すときは子機をとるか 通話 ボタンを押し、同じ保留番号をダイヤルする



- 通話ランプが点灯します。

6 終るとき



簡易転送

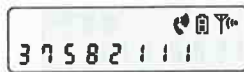
近くの内線に声をかけて転送する



声をかけて同じ内線グループ (⇒P.26) 内の別の内線に転送します。



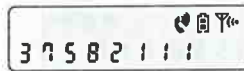
1 通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。



2 保留 ボタンを押す



- 相手が外線の場合は **外線** ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 相手には保留メロディを流します。

3 転送したい相手に口頭で伝える



4 子機を置く



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ：消灯

赤色で点滅している

外線が転送されてきたとき (子機をとる) →

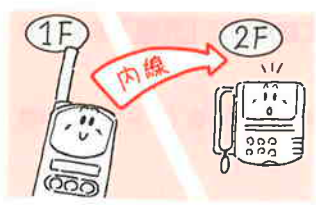
内線が転送されてきたとき (子機をとる) →

- 外線ランプは節電のため10秒で消灯します。消灯していても転送されてきた **外線** ボタンを押せば応答できます。

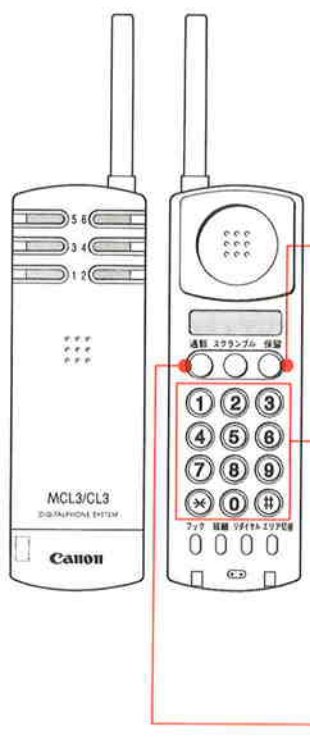
電話の簡単転送

保留転送

離れている内線に転送する



他のフロアなどの離れている内線へ転送します。



1 通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。



2 保留 ボタンを押す



- 相手が外線の場合は **外線** ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 相手には保留メロディを流します。

3 転送先の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたとき



- 転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは緑色に点滅している **外線** ボタン（内線を保留したときは **保留** ボタン）を押すともとの相手と通話できます。
- 他の内線に転送しなおすときは **フック** ボタンを押してから他の内線番号をダイヤルします。

4 相手が出たら転送であることを伝え、子機を置く



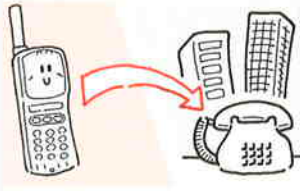
○ 通話ランプ：消灯

NOTE

- 転送先が話し中でなければ転送先の内線番号をダイヤルした後、相手を確認しないで子機を置くことができます（**強制転送**）。

外線転送

通話中の外線を別の外線に転送する



転送すると、保留した **外線** ボタンと発信に使用した **外線** ボタンの両方が赤色に点灯します。

- この通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「ブザー」が鳴ります。

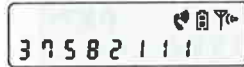
1 外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。

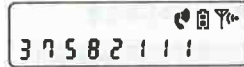


2 保留 ボタンを押す



- **外線** ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 相手には保留メロディを流します。

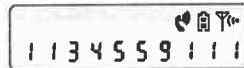
3 空いている **外線** ボタンを押す



- 外線ランプ：緑色に点灯

4 転送先の外線番号をダイヤルする

3455-9111をダイヤルしたとき



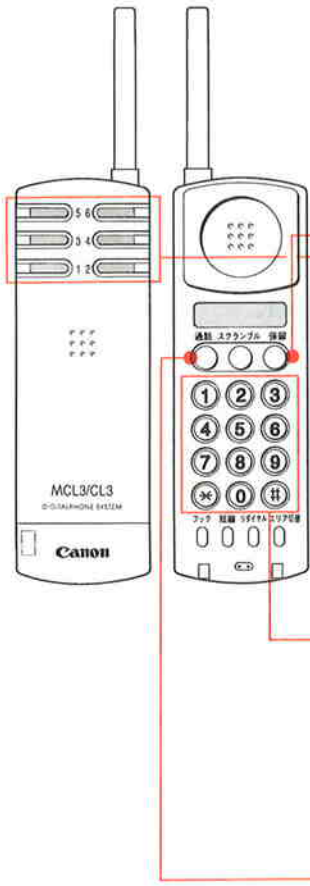
- 転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは緑色に点滅している **外線** ボタンを押すともとの相手と通話できます。

5 相手が出たら転送であることを伝え、子機を置く



充電台にもどす または **通話** を押す

○ 通話ランプ：消灯



その他の便利な機能

コンビネーション発信
スクランブル通話
キーイントーン
音量調節
マスターコール
PB 信号送出
フッキング送出
ナンバリングフリー



コンビネーション発信

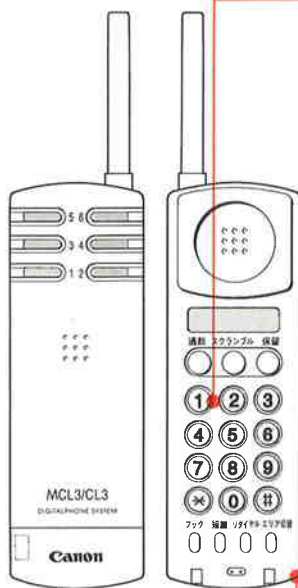
専用電話機から発信し、子機で話す



専用コードレス電話機ではできない電話帳発信や短縮検索発信、およびディスプレイを見ながらの発信などは、専用電話機を利用して発信操作ができます。

- あらかじめ専用電話機に、専用コードレス電話機の内線番号に対応した **内線呼出** ボタンが設定されていなければなりません。設定のしかたについては、主装置に付属の使用説明書（「内線呼出」の項）を参照してください。
- 電話機別短縮ダイヤル、短縮検索発信などのデータは専用コードレス電話機固有のもので利用できます。

その他の便利な機能



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です（⇒P.7）。

2 専用電話機に設定した **内線呼出** ボタンを押す

子機とつながります。

ステップ1で子機をとったとき **内線呼出** ボタンのランプは点灯します。

3 専用電話機で発信操作をする

発信すると専用電話機は待機状態になります。

4 相手が出たら子機で話す



5 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ：消灯

スクランブル通話

通話中にスクランブルをかける



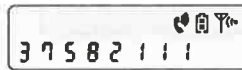
専用コードレス電話機で使用する電波にスクランブルをかけ、盗聴されにくいスクランブル通話状態にすることができます。

- スクランブル通話の状態では、音質は多少変わります。



1 通話中に

3758-2111 と通話中のとき



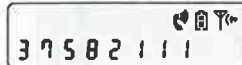
2 スクランブル ボタンを押す



- 解除するまで（次の通話にも）スクランブルがかかります。

3 解除するときは再度

スクランブル ボタンを押す



- **スクランブル** ボタンを押すことに設定と解除を繰り返します。

4 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ：消灯



キーイントーン

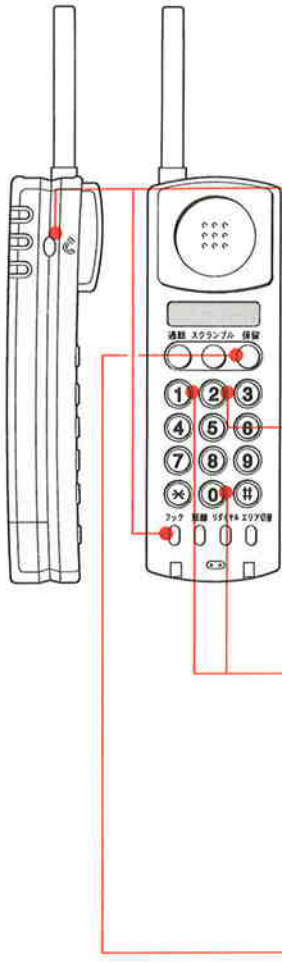
ボタンを押すと音が鳴る



電話機のボタンを押したとき「ピッ」という音を鳴らします。これをキーイントーンと呼びます。

- 設定操作の途中で、10秒間ボタンが押されないと設定はキャンセルされます。

その他の便利な機能



1 待機状態で



2 受話音量切替 ボタンを押したまま フック ボタンを押す



3 2 を押す

現在の設定状態が表示されます。



- o n : 音を鳴らす
- o F F : 音を鳴らさない

4 音を鳴らしたくないときは 0、音を鳴らしたいときは 1 を押す

0 を押したとき



1 を押したとき



5 保留 ボタンを押す



- 登録確認音「ブー」が聞こえます。

音量調節

音量を調節する



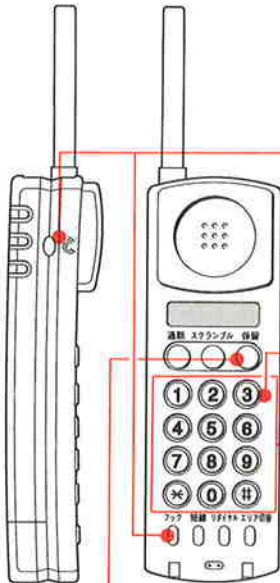
着信音や受話器から聞こえる相手の声の音量（受話音量）を調節することができます。

- 設定操作の途中で、10秒間ボタンが押されないと設定はキャンセルされます。
- 親機のスピーカ音量の調節については工事保守店にご相談ください。

その他の便利な機能



着信音量の調節



1 待機状態で



2 **受話音量切替** ボタンを押したまま **フック** ボタンを押す



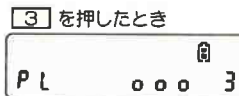
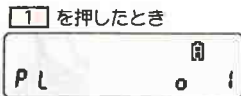
3 **3** を押す

現在の設定状態が表示されます。



- 0 : 着信音は鳴らさない
- 1 : 小
- 2 : 中
- 3 : 大

4 **0** ~ **3** を押して希望する音量を設定する

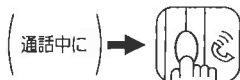


5 **保留** ボタンを押す



●登録確認音「ブー」が聞こえます。

受話音量の調節



● **受話音量切替** ボタンを押すごとに「大」と「小」を繰り返します。

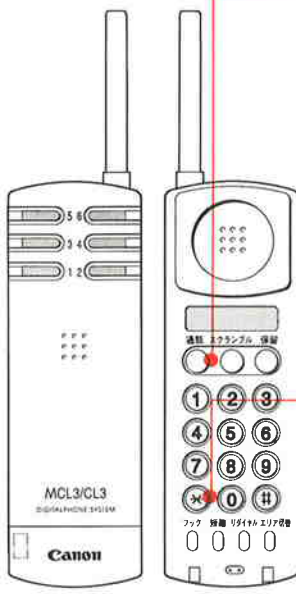
マスターコール

マスター電話機をさがす



マスター電話機がどれかわからないときに便利です。以下に示す操作をしたとき、着信音が鳴った電話機がマスター電話機です。

その他の便利な機能

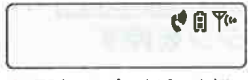


1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7)。

2 * を2回押す



- 着信音が鳴った電話機がマスター電話機です。
- マスター電話機の手話器をとると話ができません。

3 子機を置く



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ：消灯

PB 信号送出

トーン信号で各種の電話サービスを受ける



銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などのトーン信号による各種サービスが受けられます。

- 通常の電話をかける要領でサービスセンターに電話をかけ、相手が出たらダイヤルボタンの **[X]** を押します (PB 回線のときは **[X]** を押す必要はありません)。以降、トーン (プッシュホン) 信号が発信できるようになりサービスが受けられます。

フッキング送出

NTT のキャッチホンサービスに応答する



外線と通話中に **[フック]** ボタンを押して NTT のキャッチホンサービスに応答することができます。



ナンバリングフリー

データ設定

内線番号や、0発信の“0”のような特番や機能番号が自由に変更できます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。また、詳しい説明については主装置に付属の使用説明書（「ナンバリングフリー」の項）を参照してください。

内線特番一覧

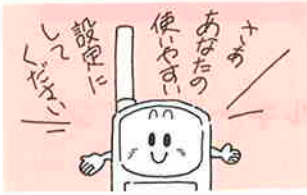
サービス名	標準値	備考	参照ページ
内線番号	1~5	2桁目は0~9の任意	-
外線自動捕捉	0	-	13
指定外線捕捉	8	2桁目は1~4	13
パーク保留	6	2桁目は1~4	27
一斉呼出	7	2桁目は0（全グループ） 9（自己のグループ） 1~4（グループ番号） ※（応答）	44
放送	構内放送	2桁目は3（固定）	49
	放送応答	2桁目は4（固定）	49
	ドアホン呼出	2桁目は1または2	50
	ドアホン応答	2桁目は0（固定）	50

●本使用説明書では標準値で説明しています。

機能を設定して使う

フレキシブルキーアサイン
内線発信
内線代理応答
ワンタッチオートダイヤル
フラッシュ機能
グループ一斉呼出
外線自己保留
ファクス転送
会議通話
秘話解除
構内放送
ドアホン





業務内容に応じて、電話を使いやすくするために必要な機能を空いている外線ボタンに設定することができます。

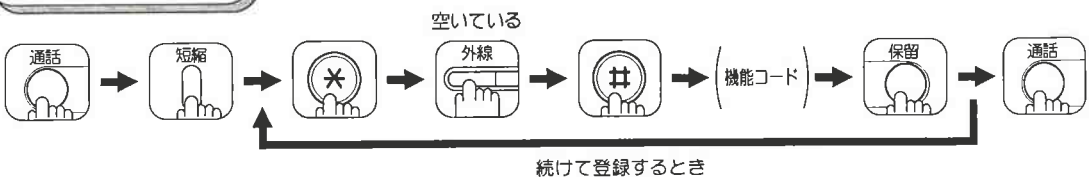
設定できる機能の種類

機能コード	機能ボタンの名称	参照ページ
101	代理応答	41
102	内線	41
103	ファクス	46
107	自己保留	45
108	ドアホン	50
109	会議通話	47,48
110	一斉	44
112	放送	49
116	フラッシュ	43

- 設定できる機能は9種類です。
- また、外線ボタンにはワンタッチオートダイヤルを登録することもできます (⇒P.43)。

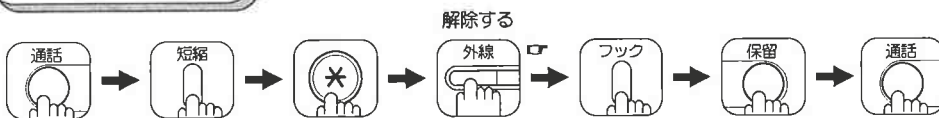
機能を設定して使う

設定のしかた



○ 変更したいときは、新たに設定しなおすことで変更できます。

解除のしかた



☐ 登録されている内容が表示されます。また、操作を途中で中止したいときは、**通話** ボタンを押してください。**保留** ボタンを押す前であればいつでも中止できます。

内線発信

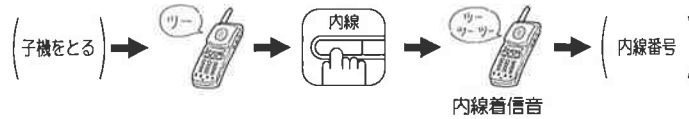
外線用の電話機から内線にかける

キーサイン



外線用の電話機(⇒P.7)から内線にかける場合は「内線」ボタンを押してからダイヤルしてください。

- あらかじめ外線ボタンに「内線」ボタンを設定(⇒P.40)する必要があります。



内線代理応答

近くで内線着信音が鳴っている

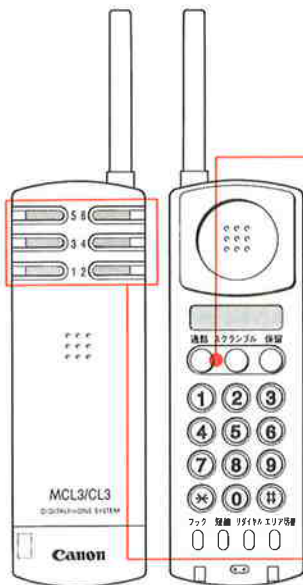
キーサイン



同じ内線グループ(⇒P.26)の電話機にかかってきた内線からの電話を、自分の電話機で応答できます。

- あらかじめ外線ボタンに「代理応答」ボタンを設定(⇒P.40)する必要があります。

1 近くで内線着信音が鳴っているとき



2 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



●通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です(⇒P.7)。

3 「代理応答」ボタンを押す



- 相手と話ができます。

4 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

- 通話ランプ：消灯
- 外線ランプ：消灯

機能を設定して使う





頻繁にかける電話番号は、空いている外線ボタンに登録しておけば、このボタンを押すだけでダイヤルできます。

- 電話機が外線用 (⇒ P.7) に設定されている場合は、ステップ2は省略できます。

機能を設定して使う

充電台にあるとき

充電台にないとき

1 子機をとる

● 通話ランプ：点滅→点灯

2 空いている 外線 ボタンまたは 〇 を押す

● 発信音は「ツーツー」から「ツー」に変わります。

● 〇 を押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。

● すべての 外線 ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまでお待ちください。

3 ワンタッチ ボタンを押す

● 登録されている内容が表示されます。

4 相手が出たら話す

5 終るとき

充電台にもどす

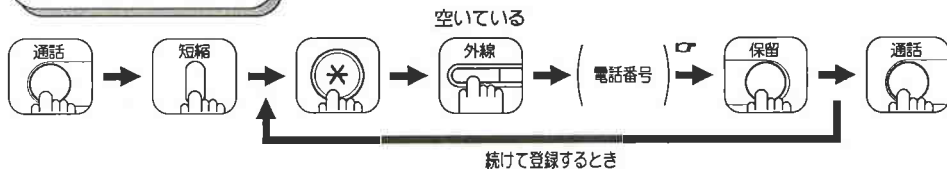
または

通話 を押す

○ 通話ランプ：消灯

○ 外線ランプ：消灯

ワンタッチオートダイヤルを登録する

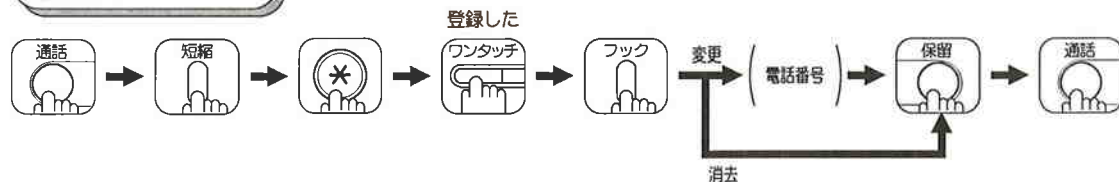


☞ 電話番号は **ワンタッチ** ボタンを押したあと、表示が消えて「ピー」という音がしてから入力してください。10桁まで入力できます。

注意

- マスター電話機から専用コードレス電話機にワンタッチオートダイヤルを登録する場合は、専用コードレス電話機の外線ボタン1~4はマスター電話機の外線ボタン1~4に対応し、外線ボタン5、6はマスター電話機のワンタッチボタン01、02に対応します。
- 登録のしかたは主装置に付属の使用説明書（「ワンタッチオートダイヤルの登録のしかた」の項）をご覧ください。

登録した内容を変更・消去する



フラッシュ機能

電話を切ると同時に外線を捕捉する

キーサイン



呼出中、話し中、通話中のとき **フラッシュ** ボタンを押せば、外線を切るると同時にそのまま同じ外線をつかむことができます。

- あらかじめ外線ボタンに **フラッシュ** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。
- 外線との通話が終り、すぐに外線にかけるときは、子機を置かずに **フラッシュ** ボタンを押せば、他の人にその外線を使われることがないので、外線が空くの待つことなくかけられて便利です。
- **フラッシュ** ボタンを押したとき、ディスプレイには通話していた相手の番号が表示されています。新たに番号を入力した場合、10桁を超えると左へシフトします。
- 電話をかける相手が内線のとき、内線番号を間違えた場合は **フラッシュ** ボタンを押してダイヤルしなおすことができます。

グループ一斉呼出

グループごとに呼びかける

キーサイン テータ設定



相手がどこにいるかわからないときやお知らせがあるときなど、全電話機またはグループごとにスピーカから音声で呼びかけることができます。

- あらかじめ外線ボタンに **一斉** ボタンを設定 (⇒P.40) してください。ただし、**一斉** ボタンのかわりに内線発信状態 (⇒P.7) でダイヤルボタンの **7** を押すこともできます。

充電台にあるとき

充電台にないとき



1 子機をとる



● 通話ランプ: 点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7)。

2 **一斉** ボタンを押す

3 呼出すグループを指定する

9 を押したとき



9 : 自分と同じグループ内で呼出すとき
1 ~ **4** : 呼出すグループを指定するとき
0 : すべての専用電話機で呼出すとき

- グループがひとつしか設定されていない場合は、ステップ3は省略できます。'

4 子機のマイクに向かって呼びかける



- 相手が出たら話ができます。

5 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

○ 通話ランプ: 消灯

一斉呼出に応答するとき

(子機をとる)



(⇒P.38)



呼出した相手と話す

- **一斉** ボタンが設定されている電話機からは、子機をとり、**一斉** ボタンを押すだけで応答できます。

機能を設定して使う

外線自己保留

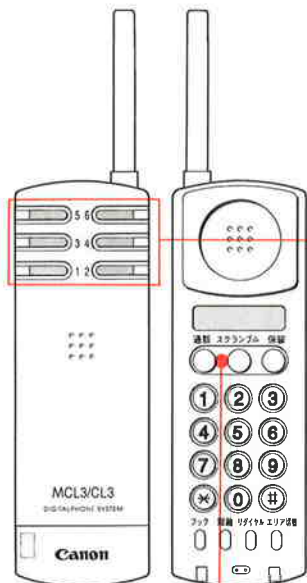
自分の電話機だけで保留する

キーサイン

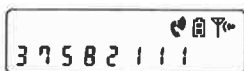


保留をした電話機でしか再び話すことができません。

- あらかじめ外線ボタンに **自己保留** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。
- 長時間保留しても警報音は鳴りませんので保留したことを忘れないようにしてください。

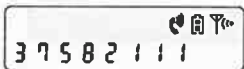


1 外線と通話中に



通話中の相手の番号が表示されています。

2 **自己保留** ボタンを押す



- **外線** ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 相手には保留メロディを流します。

3 再び話すときは緑色に点滅している

外線 ボタンを押す

4 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

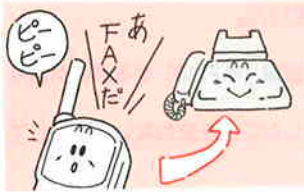
○ 通話ランプ：消灯

機能を設定して使う

ファクス転送

ファクスへ転送する

キーサイン



かかってきた電話がファクスだった場合、ファクスに転送します。

- あらかじめ外線ボタンに **ファクス** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。

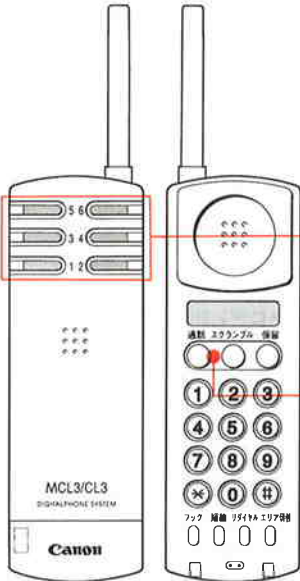
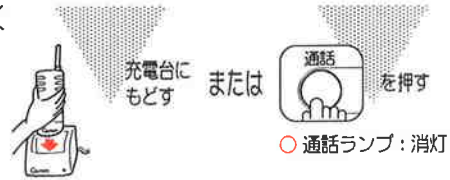
1 ファクスの通信音が聞こえたら



2 **ファクス** ボタンを押す



3 子機を置く



機能を設定して使う

会議通話

3人で同時に通話する

キーサイン



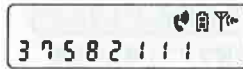
内線・外線を問わず2者間の通話にもう1人加えて3者による通話ができます。3人目の方を参加させるには、ダイヤルして相手を出呼する方法と、次ページのように口頭で相手の方から通話に参加させる2通りの方法があります。

- あらかじめ外線ボタンに **会議通話** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。
- 会議通話はシステムで1組だけ行うことができます。

1 通話中に



2 保留 ボタンを押す

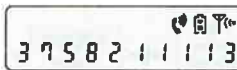


3 加えたい相手の番号をダイヤルする



- 加えたい相手が外線のときは、**0** を押してから外線番号をダイヤルしてください。
- 間違えてダイヤルしたときは **フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

4 会議通話 ボタンを押す



- 3人で通話ができます。
- 3者のうち1人が電話を切れば、他の2者だけの通話になります。ただし、外線2者と会議通話をしているときに自分が電話を切ると、他の2者の電話も切れてしまいます。

5 終るとき



充電台にもどす

または



を押す

- 通話ランプ : 消灯
- 会議通話ランプ: 消灯

機能を設定して使う



秘話解除

口頭で相手の方から通話に参加させる

キーサイン

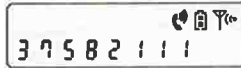


通常、通話中は“秘話”機能がはたらくため第三者が通話を聞くことはできません。しかし、この機能を解除すれば通話に参加できるようになります。これを秘話解除といいます。

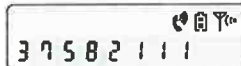
- あらかじめ外線ボタンに **会議通話** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。

1 外線と通話中に

3758-2111 と通話しているとき



2 **会議通話** ボタンを押す



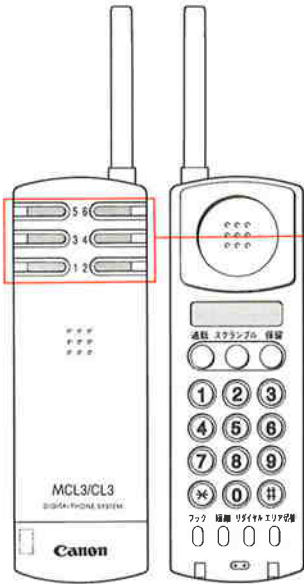
● 外線ランプ: 緑色に点滅

- 通話中の外線が秘話解除されます。解除後、**フック** ボタンを押すと再び秘話になります。

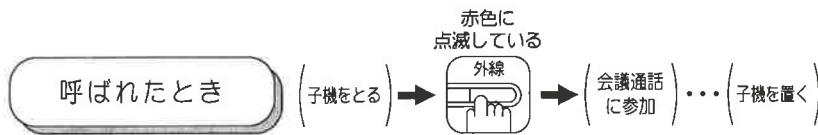
3 会議に参加させたい人に点滅している **外線** ボタンの番号を口頭で伝える



- 相手が出ると会議通話になります。
- 会議に参加できるのは、秘話解除を行った電話機と同じ外線グループ (⇒P.26) の電話機に限ります。



機能を設定して使う



構内放送

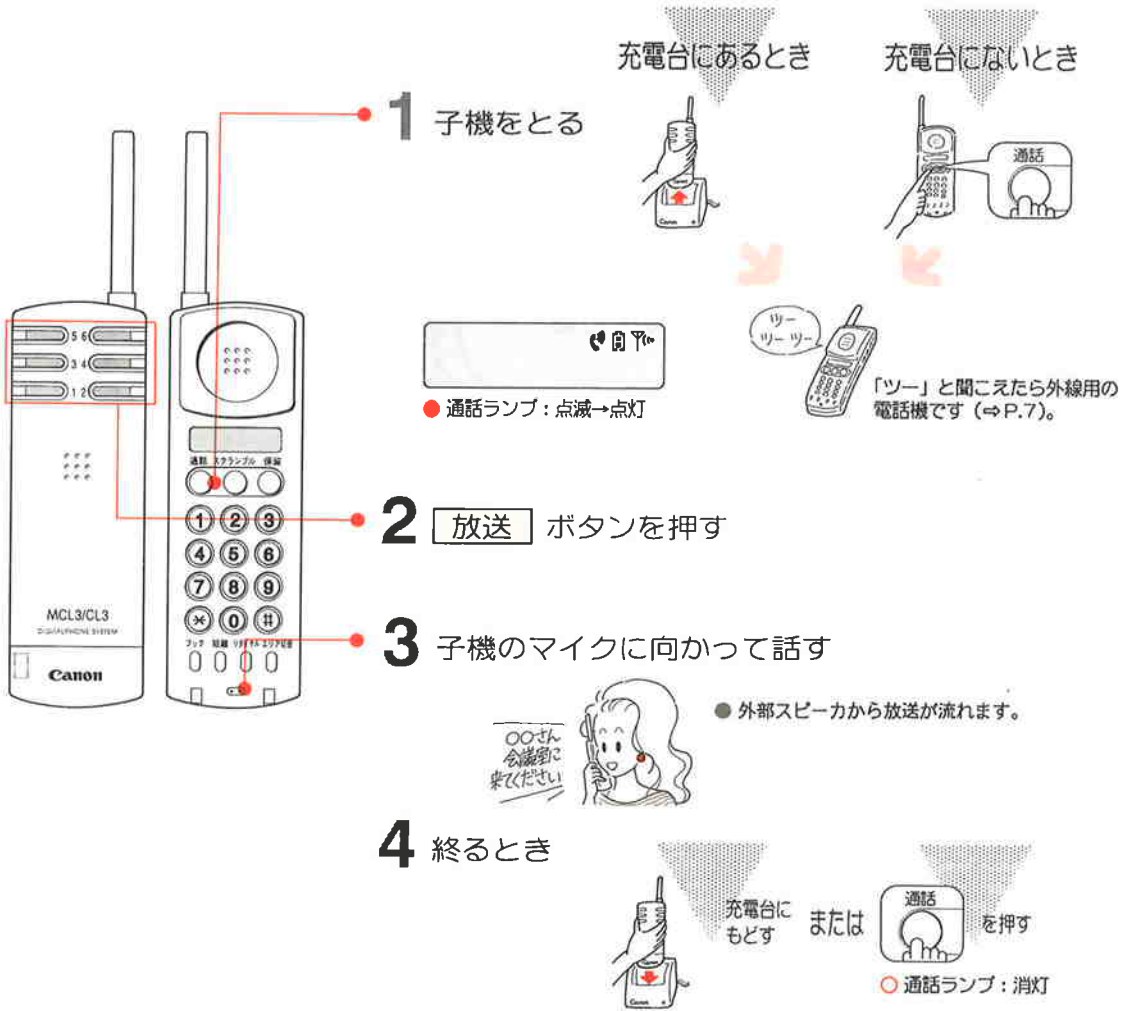
外部スピーカを使って放送する

オプション キーサイン

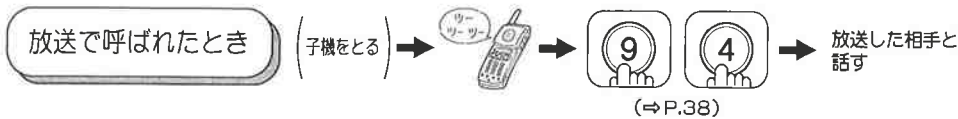


オプションの外部スピーカを使って放送できます。また、放送で呼出した人と内線通話ができます。

- あらかじめ外線ボタンに **放送** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。
- 放送中、ドアホンを呼出す (⇒次ページ) ことはできません。



機能を設定して使う



ドアホン

ドアホンに应答する

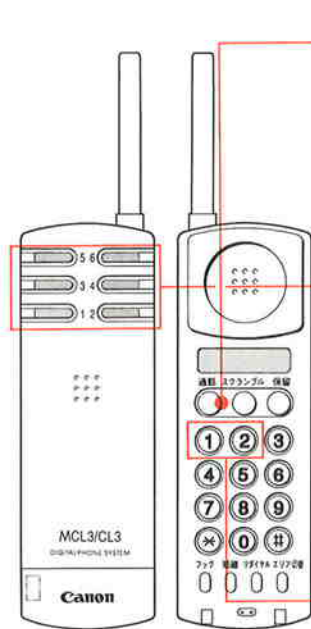
オプション キーサイン テータ設定



ドアホンからの呼出しに应答したり、電話機からドアホンを呼出して話ができます。

- あらかじめ外線ボタンに **ドアホン** ボタンを設定 (⇒P.40) する必要があります。
- 「ピーポー」と鳴っている場合は、子機をとるだけでドアホンに应答できます。設定した時間 (最長1分) 内に应答してください。着信すると **通話** ボタンのランプは赤色で速く点滅し、子機をとると緑色の点灯に変わります。
- **ドアホン** ボタンが設定されていない場合は、内線発信状態 (⇒P.7) で **9 0** (⇒P.38) とダイヤルすると应答できます。
- ドアホンの着信中および通話中は構内放送 (⇒P.49) できません。また、放送中はドアホンを呼出すことはできません。

ドアホンを呼出して
通話するとき



1 子機をとる

充電台にあるとき



充電台にないとき



● 通話ランプ：点滅→点灯



「ツー」と聞こえたら外線用の電話機です (⇒P.7)。

2 **ドアホン** ボタンを押す

3 ドアホンの番号 (**1** または **2**) を押す

● 相手が出ると話ができます。



4 終るとき



充電台にもどす

または

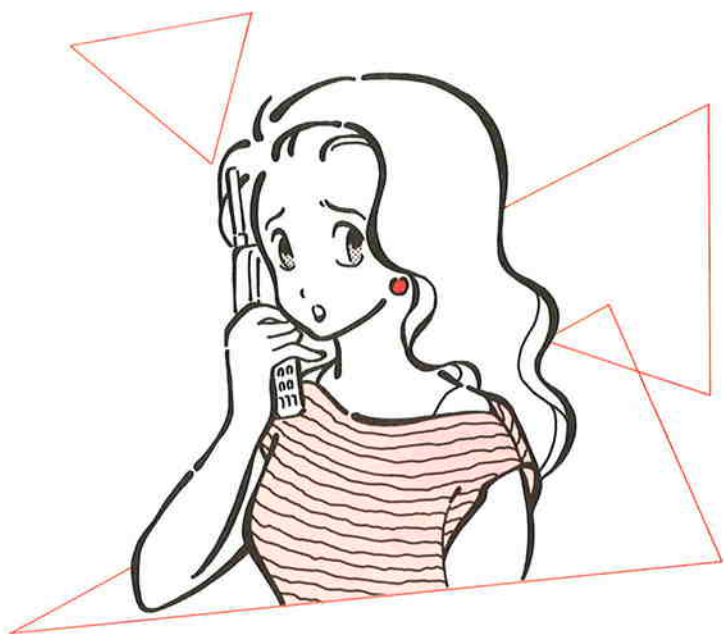


を押す

○ 通話ランプ：消灯

こんなときには

設置について
故障かなと思ったら
停電のとき



設置について

親機の設置場所

- 直射日光のあたる場所やホコリ、振動の多い場所、高温、高湿な場所、本機が落下するおそれのある場所に置かないでください。
- 冷・暖房器、高周波ウェルダ、電気溶接機の近くに置かないでください。
- 守っていただきたい距離

AV機器、OA機器と親機の間	2m以上
主装置と親機の間	2m以上
親機間	3m以上
他の電話機と親機の間	1m以上

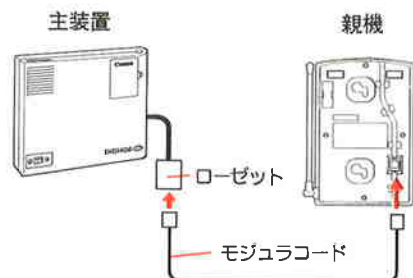
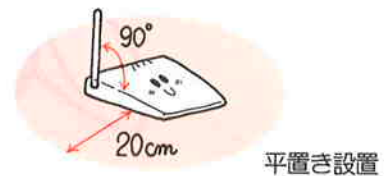
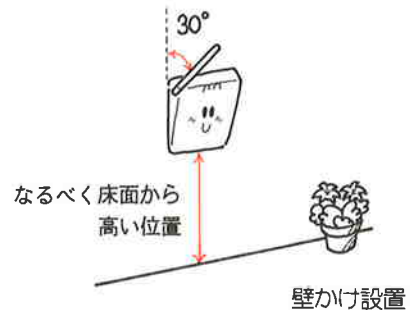
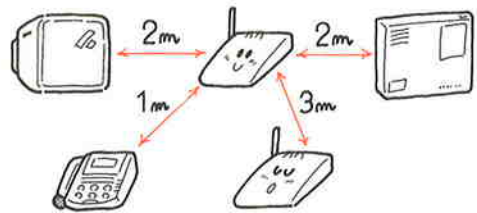
- 壁かけでも平置きでも設置できますが、できるだけ広い通話エリアを確保するために、壁かけで高い位置への設置をおすすめします。
- アンテナの角度は指向性を有効に利用するために、壁かけの場合は壁面から約30度程度傾けます。ただし、電波の状況によっては他の角度の方が良い場合もあります。

注意

- 壁かけ設置時のアンテナの傾きは、通行の邪魔にならないように注意してください。
- 壁かけにしたい場合や移設する場合は工事保守店にご相談ください。
- 平置きの場合、アンテナは垂直に立てます。周りには20cm以上の空間をとってください。

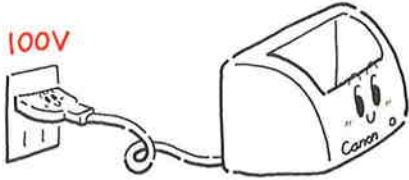
親機の接続

- モジュラコードは本機に付属のものを使用してください。市販のモジュラコードでは正常に動作しないことがあります。
- 設置時には、設定工事が必要ですので工事保守店にご相談ください。正しく接続されると親機にあるスタンバイ/使用中ランプが緑色に点灯します。



充電台の接続

- 交流 100V の家庭用電源コンセントについてご使用ください。国内用ですので海外ではご使用になれません。

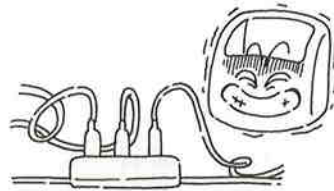


- 電源プラグは接触不良がないように、コンセントに確実に差込んでください。また、プラグを抜くときには、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



- 壁かけでも平置きでも設置できます。
- 壁かけにしたい場合は工事保守店にご相談ください。
- 充電台はキヤノン指定のものをご使用ください。

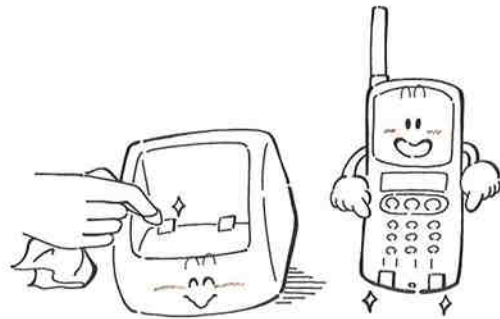
- タコ足配線は危険ですので絶対にしないでください。



通常のお手入れについて

- 柔らかい布を水またはうすい中性洗剤溶液でしめらせ、軽くふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色、故障の原因となりますので使わないでください。

- 充電端子が汚れていると、充電できないことがあります。乾いた布などでこまめに拭きとってください。



故障かなと思ったら

もう一度下記のことを確認して工事保守店にご相談ください。

1. 子機の電池は充電されていますか？

(⇒P.3, P.6)



電池の残量が少なくなると、電池マークが点滅します。

- 充電端子が汚れていると、充電できないことがあります。乾いた布などでこまめに拭き取ってください (⇒P.53)。
- 子機を充電台にもどすときは、番号シールが見える面を合わせてください (⇒P.6)。



2. 「圏外」が表示されていませんか？ (⇒P.3)

- 親機に近づくかエリア切替 (⇒P.20) でかけなおしてください。
- 通話中に親機から離れすぎると、雑音が入ったり、音質が変わったりすることがあります。また、「ピッ」という警報音が1秒ごとに鳴ると、相手の声が聞こえなくなったり、こちらの声が相手に聞こえなくなったりします。速やかに親機の近くへもどってください (⇒P.3)。

3. 子機の電源スイッチが「切」になっていますか？ (⇒P.6)



4. 親機のモジュラコードは正しく接続されていますか？ (⇒P.52)

5. 操作は正しく行われましたか？

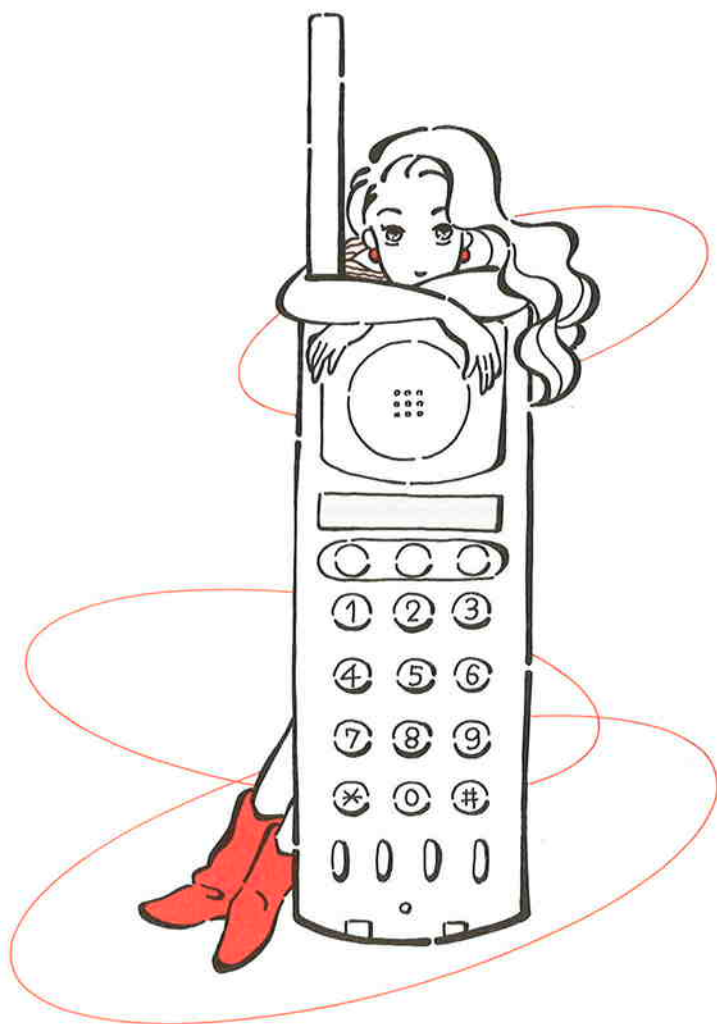


停電のとき

停電のときは、本機はご使用になれません。停電用のディスプレイ付き専用電話機でのみ外線の発信と着信ができます。

仕様・その他

仕様
機器の構成
索引



仕 様

使用周波数	250、380MHz帯	
送信出力	10mW以下（小電力型）	
通話距離	約100m	
子機	電 源	充電式電池（ニカド電池3.6V）
	充電時間	約8時間
	使用可能時間	連続通話時間：約 5時間 待ち受け時間：約50時間
	電池寿命	約2年
	アンテナ	フレキシブルアンテナ（2周波ヘリカルアンテナ）
	寸 法	52（W）×36.4（D）×160（H）mm （アンテナは含みません）
	質 量	約240g
親機	電 源	主装置より2ワイヤにて供給
	消費電力	約1W
	アンテナ	可倒式モノポールアンテナ（2周波ヘリカルアンテナ）
	設置形式	卓上、壁かけ
	寸 法	133.5（W）×186.1（D）×32.6（H）mm
	質 量	約350g
充電台	電 源	AC100V
	設置形式	卓上、壁かけ
	寸 法	75（W）×89（D）×92（H）mm
	質 量	約290g

- 専用コードレス電話機は最大7台まで主装置に接続できます。

ニカド電池の仕様

- 製造者：三洋電機株式会社
- 製品名：サンヨー カドニカ電池
- 電 圧：3.6V
- 容 量：600mAh



Ni-Cd

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

- この製品（子機のみ）には、ニカド電池を使用しております。環境と資源の保護のため、ご不要になったニカド電池は弊社の営業所、サービスセンター、O1 ショップへお持ちください。
- また、取外したニカド電池は、短絡（ショート）防止のため、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を講じた後、乾電池などの他の電池と混ぜないように保管してください。

機器の構成

製 品 名		構 成
H62-0011CL3	キャノン・デジタルホン・システム DIGI MCL3 マスターコードレスセット	マスター親機
		子機
		充電台
	キャノン・デジタルホン・システム DIGI CL3 増設コードレスセット	親機
		子機
		充電台



索引

《英数字》

○発信（外線自動捕捉）	13, 38
3人で同時に通話	47
PB信号送出	70

《あ行》

一斉呼出	44
エリア切替	20
応答	20
お手入れ	53
オフフック自動応答	12
親機（各部の名称とはたらき）	10
親機音声呼出	23
親機の接続	52
音声呼出	22, 23, 44
音量調節	35

《か行》

会議通話	47
外線自己保留	45
外線自動捕捉（○発信）	13, 38
外線転送	30
外線発信	13
外線発信状態	7
外線用の電話機	7
各部の名称とはたらき	8
壁かけ設置	52
簡易転送	28
キーイントーン	34
機能コード一覧	40
キャッチホンサービス	37
強制転送	29
グループ一斉呼出	44
警報音	3

圏外警報	3
構内放送	49
子機（各部の名称とはたらき）	8
子機を置く	24
子機をとる	13
子機を持ち歩く	20
故障かなと思ったら	54
コンビネーション発信	32

《さ行》

自己保留	45
システム短縮ダイヤル	14
指定外線捕捉	13, 38
自動応答	12
スタンバイ/使用中ランプ	10
充電台（各部の名称とはたらき）	10
充電台の接続	53
充電中ランプ	6, 10
充電のしかた	6
主装置	52
受話音量切替ボタン	8, 35
受話音量の調節	35
仕様	56
使用上のご注意	2
スクランブル通話	33
接続のしかた	52
設置について	52

《た行》

待機状態	7
代理応答	41
短縮ダイヤル	14
短縮ダイヤルの登録・変更・消去	15
着信音識別	20
着信音量の調節	35

着信テナント	26
注意していただきたいこと	2
停電のとき	54
ディスプレイの表示	9
電源スイッチ（子機）	6
伝言	24
転送	28~30, 46
電池交換のしかた	6
電池充電警報	3
電波障害について	2
電話機のタイプ	7
電話機別短縮ダイヤル	14
トーン信号	37
ドアホン	50
盗聴防止	33

《な行》

内線音声呼出	22
内線グループ	26
内線代表	18
内線代理応答	41
内線ダイレクトコール	19
内線特番一覧	38
内線発信	17, 41
内線発信状態	7
内線用の電話機	7
ナンバリングフリー	38
ニカド電池	6
任意外線応答	21

《は行》

パーク保留	27
平置き設置	52
秘話解除	48
ファクス転送	46
フッキング送出	37
フラッシュ機能	43
フレキシブルキーアサイン	40

放送	49
ボタンの説明	8
保留	26
保留転送	29
保留番号	27

《ま行》

マイク	8, 10
マスターコール	36
見通し距離	2
メッセージウェイト	24
モジュラコネクタ	10
モジュラコード	52

《ら行》

リサイクル表記	6, 56
リダイヤル	16
ローゼット	52

《わ行》

話中呼出	25
割込み	25
ワンタッチオートダイヤル	42
ワンタッチオートダイヤルの登録	43